



ユネスコスクール便り

No.129

令和5年7月31日

大牟田市1ねこスクール

担当者通信

学びを通してつながりを広げる

ESD

令和5年度ユネスコスクール・SDGs/ESD交流会が開催されました。

7月28日(金)、本年度の【ユネスコスクール・SDGs/ESD交流会】がおおむたハイッツで開催されました。学校、市政、企業などが、未来の大牟田を創造しながら具体的に取組を考え、交流するワークショップを通して、「ユネスコスクール・ESDのまちおおむた」の横のつながりを広げることができました。本交流会に参加された先生方はぜひ、各校で情報共有し、2学期以降の実践に生かしていただきたいと思います。



持続可能な社会づくりに向けた思いを、児童生徒が堂々と発表しました。

7月5日(水)、大牟田市青少年健全育成弁論大会が大牟田文化会館で開催され、小学校から高校まで代表20名の弁士が集い、それぞれの主張を堂々と発表しました。ふるさとのまちづくりに関することや、地球環境に関すること、人権に関すること、アニメルウェルフェアに関すること、自分自身の生き方に関することなど、どれも各弁士の強い思いが感じられる素晴らしい内容でした。大牟田に取り組んできたESDが、確実に実を結んでいる事が感じられる大会でした。



特色ある実践事例の紹介



命を守る ～安心・安全な社会のための備え～ 歴木中学校

本校では、1年生で高齢者施設との交流活動において介護や福祉について考え、2年生で職業について学び将来の生き方について考え、3年生で保育施設との交流を行い、命や社会とのつながりを学びます。また、全学年を通し、安心・安全な社会の実現のために情報モラル、交通安全、風水害、薬物乱用防止について学んでいます。

本年度3年生では、消防署より講師をお招きして救命講習を行いました。胸骨圧迫や人工呼吸による心肺蘇生救命法と、AEDの使用方法を3年生全員が学びました。いざという時に落ち着いて対応できるように、みんな真剣に受講しました。



救命講習で心肺蘇生法を学ぶ生徒の様子



倉永スマイル ～私たちにできること～ 倉永小学校

倉永小学校では、6年生の総合的な学習の時間に、高齢者福祉について学習を行っています。図書の本で調べたり、体験セットを用いて疑似体験したりして、高齢者の方にとって思い通りに体を動かすことが難しいことや、日常生活に孤独感を感じていることを知りました。そこで、自分たちにできることとして、介護施設の訪問を計画しました。利用者の方とのコミュニケーションや、昔を思い出してもらえそうなクイズ、歌の発表を行い利用者の方を笑顔にすることができました。

この学習の一環として、コミュニティセンターでの児童による読み聞かせも、年間を通して行っています。



施設利用者の方々とクイズを楽しむ様子